

海象変化に注意！！

- 天候急変による 浸水⇒沈没など
- 燃料欠乏による 漂流⇒乗揚げ・浸水など

荒天だとあっという間に流されてしまいます



- ・春は春一番などの強い南風が吹き、夏は雷を伴う夕立などの急な天候変化、秋は台風、冬は強い北風が吹きます。
- ・急な天候変化により予定航路を外れ、予想以上に燃料を消費する場合があります。
- ・出航前、航海中は当日の天候を常に確認し、海象変化に気をつけ早めに帰港しましょう。
- ・救命胴衣は生存率を左右するので、常時着用を心懸けましょう。
- ・もしも海中転落してしまった場合は、夏場に比べ、冬場は水温が低いいため生存率は低いといわれています。

【海象悪化による海難例】

出港当時、港内は穏やかであったが、沖に出るとやや強い風が吹いていた。船長は「久しぶりの休みだし、多少風が強いけど大丈夫だろう」と思い、そのまま沖に進出した。

その後、海上模様の悪化により、定係地向け帰港中、打ちつける波により浸水、機関が停止し航行不能となり、海上保安庁に救助を求めたもの。

気象
南南西の風16m/s
海上強風警報
波浪注意報発令中

原因
気象海象不注意

海上模様の急変には
特に注意！！

シケる前に
帰港するべきだったな・・・

～過信 慢心 御用心～

- 気象情報は入手しましたか？
- 非常時に寄港出来る場所を調べていますか？
- あなたの経験上、安全に操船できますか？
- せっかくの休みだから・・・と無理をしていませんか？
- 発航前点検はしましたか？(燃料・バッテリー・救命胴衣等)
- 連絡体制は確保されていますか？

海の安全情報

緊急情報配信サービス配信中！

アクセスは
こちらから



皆さんが無事に
帰港しますように・・・



千葉海上保安部
航行安全課